

平成20年8月29日

(宛先)

三地域レフリー委員長

各都道府県レフリー委員長

日本ラグビーフットボール協会レフリー、レフリーコーチ

日本ラグビーフットボール協会

レフリー部門長 吉丸 秀利

### ELV IRB 通達 (ELV ルーリング 2008) レフリングの確認事項

首題の件、日本ラグビーフットボール協会から通達のありました、ELVルーリングに関して、レフリングの確認事項をご連絡致しますので、宜しくご周知下さる様お願い致します。ELVに関しては、本年度は試行段階で、今後とも詳細な事象に対して確認事項が発生することが予想されますが、レフリー部門としてタイムリーに情報を流すこととしますので、状況をご理解の上、円滑な対応を御願致します。

記

#### ELV ルーリング 2008-1

試験的実施ルール (ELV) 17.5 モールの終了

ルーリング要請の内容：

Aチームがボールを持ってBチーム側のゴールラインに向かって相手を押し返しながらモールが形成され、モールの後ろにボールがはっきりと見えるとき、モールの中にいるBチームのプレーヤーが攻撃側のプレーヤーを地面に引き倒し、モールの前にいるプレーヤーも地面に倒れたが、ボールキャリアーを含むモールの後方は立ってバインドしたままで相手のゴールラインへ向かって動き続けている。このとき、ボールまたはボールを持っているプレーヤーがモールから離れた、または、ボールが地上にある場合を除き、モールは終了していないとみなしてよいか？

ルーリング：

1名または複数のプレーヤーが地面に引き倒された後、ボールを保持していない方のチーム(チームB)のプレーヤーがまだモールに参加している場合、モールは継続する。

#### **【レフリングの確認事項】**

上記ルーリングは、モール後方の立ってバインドした状態でゴールラインへ動き続けて

いる状態でモールが継続するか否かの確認をしている。そのためモールを引き倒した直後の防御側プレーヤーがモールに参加していない状況（攻撃側のみの構成）での回答はされていない。

モールが引き倒されAチームのみでボールを保持している状態では、競技規則 17.5 にあるモールの終了要件を満たしていない。これは、昨年までのモールがボールキャリアとモールを構成する味方プレーヤーが防御側によって一時的に離された状態では、まだモールの終了要件を満たしていないと同じ解釈である。ただし、一時的に防御側プレーヤーがモールに参加していない状態で、ボールキャリアを含めたモールを構成するプレーヤーが移動した場合は、ボールキャリアがモールから離れたと判断し、モールは終了する。

## **ELV ルーリング 2008-2**

試験的实施ルール（ELV） 20.12 スクラムにおけるオフサイド

ルーリング要請の内容：

- (1) ボールを獲得した側のスクラムハーフは、スクラム内の味方チームのプレーヤーの最後尾の足を通るオフサイドラインを越えなければ、ナンバーエイトからパスを受け取ることができるようにスクラムから離れた位置に動いても良いのか？ただし、ナンバーエイトが、スクラムハーフがスクラムから離れる際に遅れずパスをする場合とする。
- (2) スクラムを与えられた側のスクラムハーフは、味方チームのナンバーエイトが、スクラム内の足からボールをプレーするまで、スクラムの両側、すなわち、ボールが入られる側とその反対側から 1 m 以内の距離にとどまっていなくてはならないのか？

ルーリング：

- (1) ボールを獲得した側のスクラムハーフは、最後尾のプレーヤーの足を通るオフサイドラインを越えなければ、ナンバーエイトからパスを受け取ることができるように、スクラムから離れた位置に動くことができる。
- (2) ボールを獲得した側のスクラムハーフは、上記(1)で示しているようにスクラムから 1メートル以内の距離にとどまる必要はないが、ボールを獲得しなかった側のスクラムハーフは、スクラムの近くにとどまらなくてはならない。

## **【レフリングの確認事項】**

ルーリング質問の通り、スクラムにおいて、スクラムハーフがナンバーエイト（最後尾のプレーヤー）からパスを受け取ることができるようにスクラムから離れることを認めている。そのタイミングは、ナンバーエイトが、スクラムハーフがスクラムから離れる際に遅れずにパスをする場合となっている。競技規則上は、20.10 スクラムの終了（c）項にあるように最後尾のプレーヤーがバインドを外して、ボールを拾い上げた時にスクラムは終了すると記載されている。よって、2008-2009 レフリングの指針のビデオ映像の通り、最後尾のプレーヤーの足元にボールがある状態で、ナンバーエイトが肩をはずすとほぼ同時にスクラムハーフが動き出すこと。これを**ユニットプレー**としてタイミングを統一することで問題ない。

### **ELV ルーリング 2008-3**

試験的实施ルール（ELV）19.7 ラインアウトの形成

ルーリング要請の内容：

上記 19.7 (f) に記されている内容に従い、ラインアウトを行う際は、ボールを投げ入れないチームが、タッチラインと5メートルラインの間にプレーヤー1名を立たせるか否かを決定することが許されるのか？

ルーリング：

19.7 (f)は、ボールをスローインするプレーヤーの反対側に、タッチラインと5メートルラインの間に立つプレーヤーがいなくてはならず、また、そのプレーヤーは、5メートルラインから少なくとも2メートル以上離れていなくてはならない、と述べている。19.7 (f)の条文は、19.7 (a)および (b)に付け加えられたものである。

#### **【レフリングの確認事項】**

特になし

以上